

開催の趣旨

本会議は、近年世界的にその関心を高めるとともに、医療、看護といった実践研究分野において積極的に用いられ始めた、量的研究アプローチと質的研究アプローチのハイブリッドである混合研究法（ミックス法）に関する学術会議です。この発展を支える中心的な国際学会である国際混合研究法学会（Mixed Methods International Research Association：MMIRA）のアジア地域会議にあたります。MMIRAは2013年に設立され、2014年6月に第1回世界大会がボストンにて開かれました。その理事会にて、翌2015年には世界の各地域で地域会議を開催されることが決まり、本会議はそのアジア地域会議として、日本をはじめアジア地域の研究者の方々に広く混合研究法について知っていただくことを目的として開催されます。

海外からの混合研究法の第一人者である研究者を講師として招聘し、基調講演やワークショップ、研究発表の場を設けます。混合研究法に関心のある、多方面の研究者の皆さまのご参加をお待ちしております。

プログラム（予定）

【9月19日（土）1日目】

ワークショップ（事前登録制・有料）

Introduction to MMR

講師：Dr. R. Burke Johnson（University of South Alabama）
Dr. Michael D. Fetters（University of Michigan）

State-of-the-Art Developments in Mixed Methods Research Designs

講師：Dr. John W. Creswell（University of Nebraska-Lincoln）
Dr. Benjamin F. Crabtree（Rutgers Robert Wood Johnson Medical School）

混合研究法としてのグランデッドなテキストマイニング・アプローチ

講師：稲葉 光行（立命館大学）、抱井 尚子（青山学院大学）

Personal strategies for analysis and integration of mixed methods data

講師：内藤 哲雄（福島学院大学）

複線径路等至性（TEM）アプローチとテキストマイニングによる混合研究法／協働により何が捉えられるか？

講師：廣瀬 真理子（関西学院大学）、安田 裕子（立命館大学）

Practical strategies for analysis and integration of mixed methods data

講師：Dr. Pat Bazeley

開会式・大会長あいさつ・・・Dr. Michael D. Fetters（University of Michigan）

基調講演1・・・Dr. Benjamin F. Crabtree（Rutgers Robert Wood Johnson Medical School）

基調講演2・・・Dr. Hisako Kakai（Aoyama Gakuin University）

基調講演3・・・亀井 智子氏（聖路加国際大学）

パネルディスカッション・・・Drs. Crabtree, Fetters, Kakai and Kamei

ポスターセッション

【9月20日（日）2日目】※日本質的心理学会と合同開催

Meet a mentor session・・・（メンタリング希望者対象・事前申込み制）

研究発表（口頭）・・・日本語セッション・英語セッション

基調講演4・・・Dr. John W. Creswell（University of Nebraska-Lincoln）

基調講演5・・・無藤 隆氏（白梅学園大学）

基調講演6・・・Dr. R. Burke Johnson（University of South Alabama）

パネルディスカッション・・・Drs. Creswell, Johnson, and Muto